

新しい大学広報ツールの運用開始



緊急時における連絡手段の脆弱さへの対策、多くの学生が使う拡散性の高いツールの導入、大学公式 Web サイトのみの限定的な情報発信システムの補強を目的に、大学ニュース発信用「Twitter アカウント」、「Facebook 中大公式ページ」、「YouTube 中大チャンネル」を設け、運用をはじめていきます。Twitter や Facebook をご利用であればぜひ、フォローやリンク、「いいね!」ボタンのクリックなど、ご協力をよろしく願います。



「iTunes U」の動画配信もスタート



- 知の回廊
- 多摩探検隊
- 学びの回廊(10月以降アップ予定)
- 大学紹介
- スポーツ特集

などが、無料で視聴できます。

URL : <http://itunes.apple.com/jp/institution/chuo-university/id429865852>



編集室

今季号は、東日本大震災と向き合って、被災地支援のために自分に何かできることはないかと、自らの問い掛け、実行に移した中大生を特集しました。

支援に立ち上ったきっかけは、「自分でやれることをしよう」「人の役に立ちたい」などと人それぞれですが、共通しているのは「見て見ぬふりはできない」(ヨット部主将、山崎裕史さん)という事なかれ主義を廃する気持ちだと言えます。

そんななか取材を通し、一人が「思っているだけで行動に移せないの一人が「言い訳をつくって何もしないことも可能です。しかしそれでは自分は何も変わらない」と語った

のが、特に私の心に残っています。

この2人の言葉に代表されるように、特集で紹介している中大生たちは、自分の内面と真摯に向き合い、自らに課題を課し、その答えとなる「道」をみつけ、行動に移しました。その結果、新たな人との出会いをはじめ、キャンパスでは体験できない社会に接し、「何か自分が変わった」と感じはじめた中大生が少なくありません。

行動に移さなくても、大震災と向き合って、自分に何ができるかを考えている人はたくさんいると思います。考えなければ何も始まりませんから、それも貴重な経験でしょう。『東日本大震災と向き合って』は次号以降も随時、取材していきたいと思えます。

(編集長 伊藤博)

学生記者が取材・編集する大学広報誌

Hakumon

Chuo
ちゅうおう

2011

夏季号

2011年(平成23年)7月1日発行 No.222

発行 中央大学広報室

〒192-0393
東京都八王子市東中野742-1

〈編集担当〉

『Hakumonちゅうおう』編集室

☎042-674-2048

印刷 泰成印刷株式会社
〒130-0026
東京都墨田区両国3-1-12
☎03-3631-8141